

平成 19 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 新潟 放送
 代表者名 代表取締役社長 牧 野 庄 三
 (J A S D A Q ・ コード 9 4 0 8)
 問合せ先 取締役経営管理局长 相澤信介
 (T E L : 0 2 5 - 2 6 7 - 4 1 1 1)

平成 19 年 3 月期通期 (単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) 通期の業績予想につきまして、平成 18 年 11 月 22 日付当社「平成 19 年 3 月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1 . 平成 19 年 3 月期通期 (単独) 業績予想の修正等

(1) 通期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,730	524	246
今回修正予想 (B)	7,730	670	320
増 減 額 (B - A)	-	146	74
増 減 率	-	27.9%	30.1%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	7,675	710	2,191

(2) 修正理由

売上高におきましては、全国的にラジオ広告の低迷が長期化するなかで、当社におけるラジオ収入も大幅減収を余儀なくされておりますが、テレビ収入においては県内スポンサーの堅調な広告出稿に加え、低迷していた県外からのスポット出稿も下期に入って回復傾向が見られることから、ほぼ前回予想通りとなる見込みであります。

一方、利益面におきましては、テレビ地上デジタル放送の開始に伴う経費増はあるものの、徹底した社内コストの削減などにより、経常利益は 1 億 4 千 6 百万円、当期純利益は 7 千 4 百万円、それぞれ前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、連結業績につきましては、平成 18 年 11 月 22 日付当社「平成 19 年 3 月期中間決算短信 (連結)」にて発表いたしました予想値の範囲内で収まるものと予測しておりますが、今後の動向により予想修正の必要が生じた場合は直ちにお知らせいたします。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上